

ちゅうるい学園小中一貫だより

令和6年 9月10日発行 ちゅうるい学園

忠類小学校 • 忠類中学校

~小中合同の取組~

7/11 小中合同体力テスト



ちゅうるい学園の保体部の先生たちが企画してい るもので、例年取り組んでいる小中合同でのシャトル ランの測定。小学5・6年生が中学校の体育館に行っ て一緒に行います。久しぶりに会う小学生と中学生、 共に励ましあいながら、自分の限界まで走りつづけま した。みんな、楽しんで活動に参加していました。

7/22 小中合同会議

小中学校の教員が集まり、小中一貫教育推進委員会を開き、各校の現状や課題につい て交流しました。その後は、推進委員会の保体部によるエピペン研修を行い、子どもた ちの、安心・安全を守る方法について学びました。

中学校の先生たちの乗り入れ授業

中学校の先生たちが都合のつく時間に、 小学校の授業に参加しています。また、校 内研修や参観日などもお互いに行き来し て連携を深めています。





~忠類小学校の取組~

子ども交通安全教室

6月11日(火)に、全校児童を対象と もたちは、迫力ある光景に息をのみなが らも、交通安全に対しての気持ちをあら に取り組んでいきます。 たにすることができました。





シーニックカフェ学習

地域のボランティアの方々で運営されてい して、十勝トラック協会の方々による交の「シーニックカフェ」。本来は休日のみのと 通安全教室がありました。本物の自転車

ころ、7月22日(月)の平日に特別にあけて を使って、トラックの内輪差による巻き いただき、カフェ体験の学習を行いました。今 込み事故を再現したり、ダミー人形を使 年度は中学生の発案でブランコが2台設置さ って、車に衝突した時の衝撃を速度の違れ、小学生が命名を行いました。今後は、子ど いごとに見せたりしてくれました。子ど、もたちがアイディアを出しながら、観光資源 としてシーニックカフェの魅力を伝える学習





~忠類中学校の取組~

「忠類 ゆり根」の学習

中学校では3年間を通して、忠類の特産物 「ゆり根」を活用した学習を行っています。

1年生…ゆり根の生産者さんからゆり根の 栽培方法や魅力について学ぶ。

2年生…「かきゆり」の作業を体験し、ゆり 身近な SNS に潜む 根の有効活用(加工)について学ぶ、怖さを改めて学び、

3年生…「忠類ゆり根」の PR について考え 使い方のルールを再 実行する。

JA 忠類やゆり根農家さんの ご協力のもと、この学習が成り 立っています。中学生は体験を **涌して、地域の魅力やふるさと** への思いを高めています。

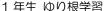
夏休み前 SNS 防犯教室

7月18日(木)、講師に忠類駐在所の 上野巡査部長をお迎えして、「被害に遭わ ないための SNS 防犯教室 I を行いました。 多くの中学生がスマホなどの通信機器を手

確認する貴重な機会 となりました。









2年生 かきゆり体験

ちゅうるい学園 学校運営協議会

学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域 と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある 学校」を目指す仕組みとして設置されたものがコミュ ニティー・スクール(学校運営協議会)です。

学園(忠類小・中)の学校運営の基本方針を承認し たり、意見を述べたりします。7月11日には、第1 回幕別町小中一貫教育・CS 推進連絡会議で、町内の 5つの学園の取組を交流を行いました。



写真は第2回運営協議会の様子

第3期 ちゅうるい学園学校運営協議会委員

(任期:令和5年2月1日~令和7年1月31日)

会長 加藤 茂樹

委員 五十嵐 克幸 給木 亜希子 伊藤 美登里 香西 浩志 矢崎 丰子 西川 寿子

> 鳥毛 浄牛 千葉 勝博 森